

	児童の現状の分析	授業改善の方針
国語	○ひらがなの読み書きの力が、不十分な児童がいる。特に促音、拗音の表記が十分に身に付いていない。 ○生活経験からくる語彙力に差がある。 ○楽しんで音読をすることができている。音読の仕方が身に付いてきて、文字を追いつながら音読することができるようになってきている。 ○話す力や聞く力が十分に身に付いていない。 ○言葉のきまりが十分に身に付いていない。 ○読書にすすんで取り組んでいる児童もいるが、個人差が大きい。	○他教科の時間でも、教科書等の資料を丁寧に読ませることに重点をおき、ノートも正しく丁寧に書かせる。また、児童の実態に応じて、個別の支援を行う。 ○ポプラタイム等を活用し、テーマを決めて言葉集めや視写に取り組み、日常生活や学習に必要な語彙の量を増やしていく。ICTを活用し、言葉の意味や内容を具体的に、実感をもって理解できるように工夫する。 ○授業の中で、音読する時間を積極的にとるようにする。一人読み、一斉読み、役割読みなどいろいろな読み方で取り組ませる。 ○他教科の時間においても話の聞き方の指導をする。正しい話形を示し、順序よく話す経験を積み重ねられるようにする。 ○「多層指導モデルMIM」を活用して読みのつまずき克服と読解力アップを図る。プリントで繰り返し練習したり、作文の中で使ったりして言葉のきまりについての習熟を図る。 ○ポプラタイムや図書の時間、読書週間を活用して、読み聞かせや国語の学習の関連読書を計画的に実施する。
算数	○10までの数の合成・分解、順序数と集合数の違いの理解について個人差が大きい。 ○たし算やひき算の定着について個人差が大きい。 ○文章問題の場面を正しく読み取ることが難しい傾向がある。場面の理解と共に、何を聞かれていてどのように答えなければならないかを読み取り適切に立式、解答することについて、学習を積み重ねていく必要がある。	○ポプラタイム、授業中の一部の時間、家庭学習で、プリントやすららドリルを活用して反復練習を継続して積み重ねていけるようにする。 ○児童の実態に応じてブロック等の半具体物や○で数を表した図による操作を十分に経験させる。 ○問題の場面を図式化したり、半具体物を操作したりキーワードを探したりして理解につながる工夫をする。ICTを活用して視覚的に捉えることができるようにする。
生活	○学校や地域の人、植物や生き物に意欲的にかかわろうとしている。 ○日常の体験や気付きに個人差がある。	○自然や地域、様々な人とふれあう学習活動に計画的に取り組む。 ○人・もの・自然と関わる活動として裏庭の畑やビオトープ、地域の公園、施設を積極的に活用する。気付きを促すような言葉かけを工夫する。また、友達の感想や意見を聞いたり、自分の思いなどを言葉で表現したりする機会を多く設け

		る。関わったものや自然を、ＩＣＴを活用して写真に残して見返したり比較したりできるようにし、気づきにつなげる。
音 楽	○曲調に合わせて体を動かしたりリズム打ちをしたりして、音楽を楽しみながら活動できる児童が多い。 ○リズムにのって手を打つことについて個人差がある。 ○鍵盤ハーモニカの演奏を楽しむことはできているが、適切な指づかいで演奏することに個人差がある。	○歌う意欲を高めながら、教科書教材の他、歌集の歌などいろいろな歌を楽しめるようにする。 ○簡単なリズム打ちで拍を打ったり、音楽に合わせて打楽器を演奏したりする活動を積み重ねる。 ○意欲と楽しさを大切にしながら、繰り返し練習をすることで苦手意識をなくしていくようにする。
図画工作	○意欲的に楽しく取り組んでいる。 ○道具の扱い方の器用さに個人差がある。	○様々な材料や用具を使い、表現する楽しさや面白さを味わわせる。 ○はさみ・のり・クレパス・絵の具など、道具の使い方を丁寧に指導する。ＩＣＴ機器を活用して視覚的に捉えることができるようにする。図工以外の学習でも、はさみやのりを使う機会を設け、経験を増やすようにする。
体 育	○きまりを守って意欲的に取り組み、楽しんでいる。慣れない動きや活動に戸惑う児童もいるが、前向きに取り組むことができている。 ○ボールや器具、固定施設を使った遊びの技能に個人差がある。	○身体を動かす楽しさを十分に味わえる学習を工夫し、成功体験を増やし、認め合う場を設ける。 ○様々な運動遊びを通し、様々な動きを体験できるようにする。休み時間も楽しく身体を動かす遊びに取り組めるように声かけをする。 ○学習の中で多様な動きに取り組めるよう、場の工夫を行う。体の動かし方を丁寧に指導する。
道 徳	○道徳的な価値の理解について、自分の意見をもつことが難しいなど、個人差がある。	○教科書の場面を、役割演技をしたり動作化したりすることで、自分事として捉えられるように工夫する。 ○友達の意見を聞いたり、考えを伝え合ったりすることを通して、道徳的価値への理解を広げ深めていく。自分の生活を振り返る時間を設けることで、今までの自分やこれからの自分を見つめることができるようにする。